



Health2.0で講演する大武部長

来るべき社会課題への解決策を、いま！

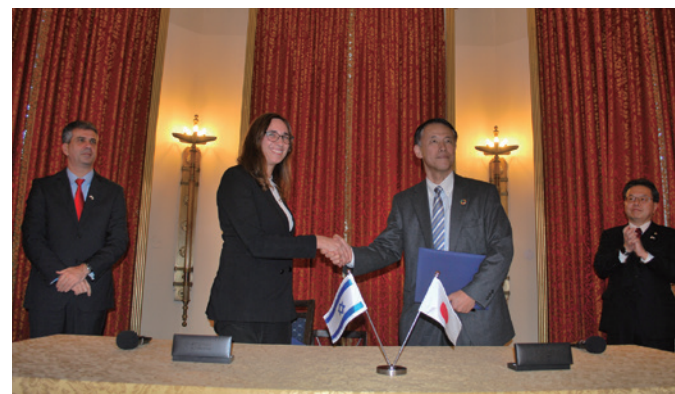
現在、OKIは「金融ジェロントロジー」という言葉に着目しています。これはアメリカなどを中心に研究が進んでいる学問で、ジェロントロジー（老年学）と金融研究を組み合わせたものです。簡単に言えば、100歳まで生きるためには健康寿命に加えて資産寿命も重要であり、その2つをセットで考えようというのが「金融ジェロントロジー」の基本的な考え方です。一方、後期高齢者は元気であっても住宅ローンが組めない、認知症と診断されたら資産が凍結されるなど、日本では高齢者の資産寿命に関するさまざまな課題が増加していくと考えられます。

こうした社会課題に対し、OKIのヘルスケアデータと金融ジェロントロジーをかけ合わせて何ができるか——。OKIでは、国内外の実証実験の場を活用し、「歩行」「睡眠」「食事」「ストレス」「エイジング」という健康に関する5つの要素の中に、OKI独自の健康スコアリング「アルゴリズム」を組み込むことで、超高齢社会に対応する新たなサービスの開発を目指しています。

社会課題の解決に向け、さまざまな企業が新たなサービスを生み出そうとしています。例えば、金融

機関や保険会社では新たな住宅ローンや生命保険、損害保険、年金などのサービスが考えられます。OKIでは現在、そうした方々と新たなサービスの中に健康スコアリングの仕組みを実装していく協議を進めているところです。

団塊の世代が後期高齢者に突入する2022年から、日本は未曾有の超高齢社会を迎えます。来るべき社会課題の解決策を、その前段階で実装していく。それが、私たちOKIの強い思いです。



OKIは、中東最大の医療機関Sheba Medical Center（本社：Tel Hashomer, Israel）にあるARC Innovation Centerと、認知症の予防に関する研究を進めることで合意し、契約を締結しました。（2019年1月15日）
<https://www.oki.com/jp/press/2019/01/z18081.html>

OKI 沖電気工業株式会社

お問い合わせ先

経営基盤本部 イノベーション推進部

〒105-8460 東京都港区虎ノ門1-7-12（虎ノ門ファーストガーデン）

電話：03-3501-3821 https://www.oki.com/jp/yume_pro/

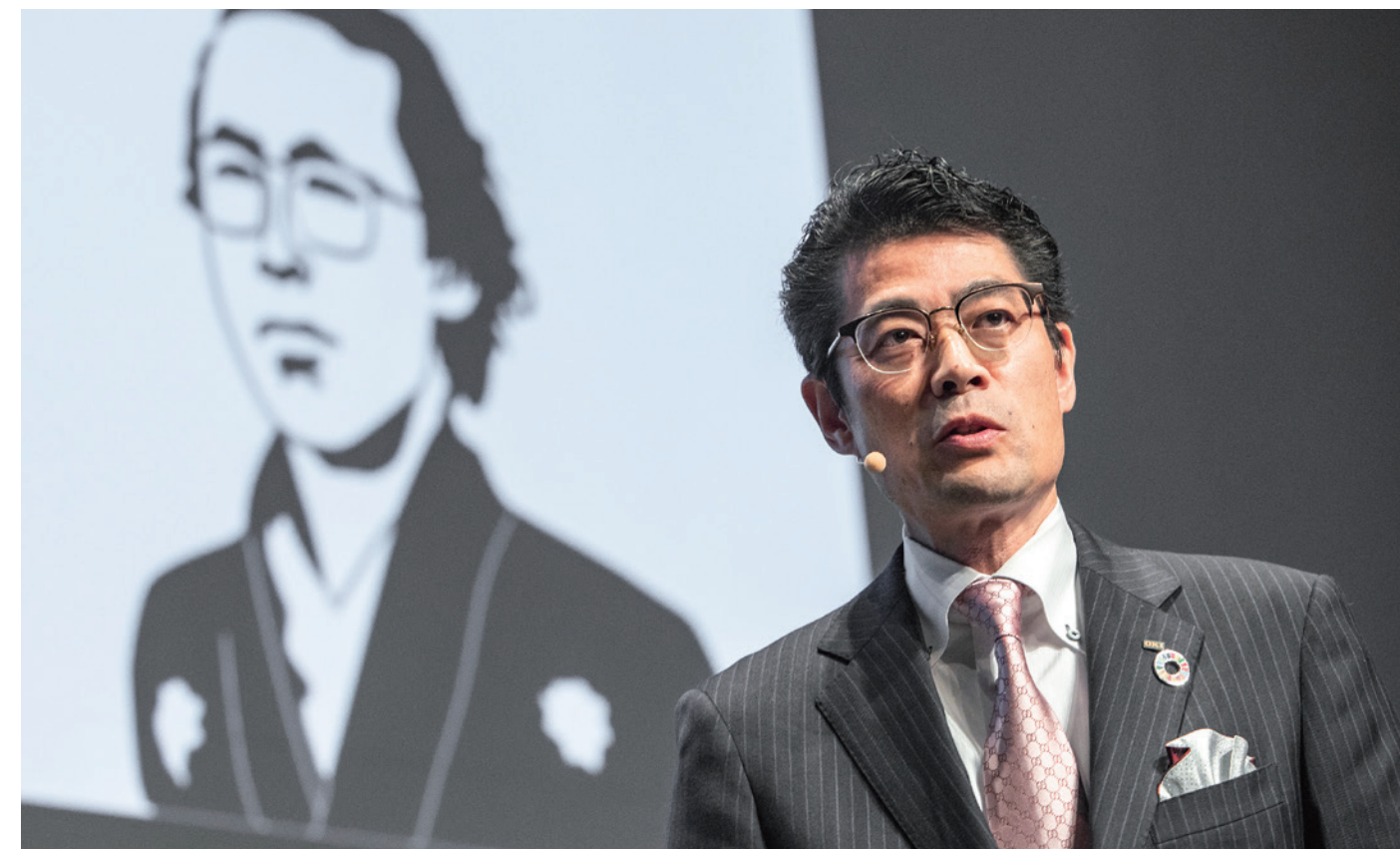
Yume Pro News



Vol.2 2019. January

https://www.oki.com/jp/yume_pro/

国内最大級のヘルステック・カンファレンス「Health 2.0 Asia-japan 2018」で講演！



「OKIの坂本龍馬」と自己紹介する大武部長

Yume Proで挑む OKIの「ヘルスケア」 イノベーション



満席のHealth2.0会場

2018年12月4日・5日の2日間、東京・渋谷ヒカリエホールにおいて「Health 2.0 Asia-Japan 2018」が開催されました。2007年にアメリカでスタートした「Health 2.0」は、医療・ヘルスケア分野における最新のテクノロジーとそれを活用した先進事例を紹介する世界最大規模のヘルステック・カンファレンスで、日本では第4回目の開催となります。この「Health 2.0 Asia -Japan 2018」において、イノベーション推進部の大武元康が「Yume Proで挑むOKIの『ヘルスケア』イノベーション」というテーマで講演を行いました。以下に、講演の概略を紹介します。

OKIのイノベーション創出活動「Yume Pro」

OKIは、2018年4月よりイノベーション創出活動「Yume Pro」(ユメプロ)を推進しています。複雑かつ中長期的にわたる社会課題の解決(SDGs)を目指し、情報通信の技術を活用してパートナーの皆さんとともに世界の人々が「安全」と「便利」を両立した生活しやすい環境を創るためのOKIのイノベーション創出活動、それがYume Proです。

OKIでは国内のみならず海外も含めグローバルにアプローチしていきたいという観点から、2018年5月にはJETRO（独立行政法人 日本貿易振興機構）で開催された「インド最前線セミナー『ヘルスケア×IoT』」でYume Proの活動を紹介。また、7月には、一般社団法人Japan Innovation Network (JIN) と共同で、イスラエル大使館のご協力を得て、イスラエルにおける世界最先端のデジタルヘルスケア分野の情報を提供するセミナーを開催しました。こうしたさまざまな活動を通じ、インドやイスラエルをはじめとする世界の企業と連携しながらYume Proを推進していきたいと考

Yume Proにおけるヘルスケア分野の取り組み

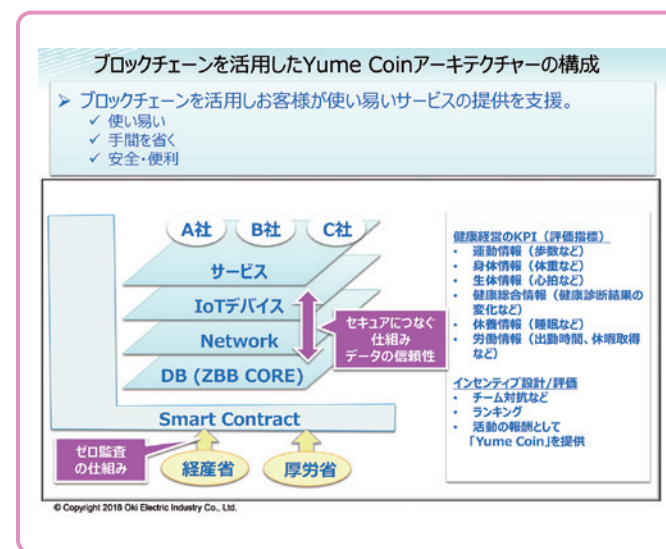
つぎに、本日のメインテーマである「ヘルスケア分野の取り組み」についてご紹介したいと思います。SDGs 3.4には「2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する」とあり、OKIはこのSDGs 3.4にコミットしていきたいと考えています。特に生活習慣病や認知症の予防・早期発見の分野において、ITを活用して何ができるかといった観点でアプローチしていきます。

具体的な取り組みとしてOKIがやりたいことは3つ。
1つ目は、非感染症の兆候を「早期発見」することで未病・予防を行う。2つ目は、本人の「行動促進」により、積極的に非感染症を予防する。3つ目は、「家族・地域をつなぐ」ことで、非感染症に関係者全員で挑むということです。

えています。

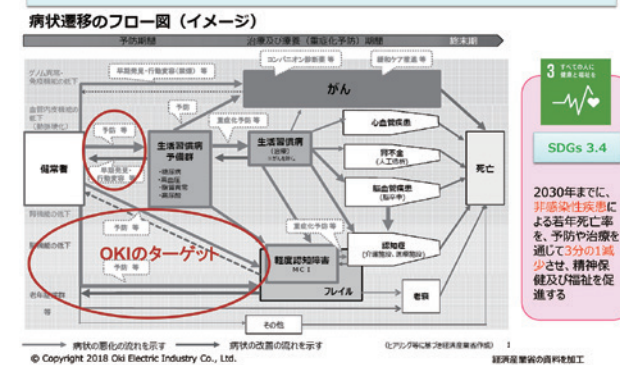
Yume Proでは、SDGsの社会課題を解決することを目標に、「医療・介護」「物流」「住宅・生活」の3分野をテーマとしてイノベーションの創出に取り組んでいます。

サービス利用者に付与するインセンティブとして、OKIではインセンティブ・ポイント「Yume Coin」を構築・運用しています。



OKIがやりたいこと

- SDGs 3.4 を達成するために、OKIは非感染症疾患による死亡者を減らすための「未病・予防」に注力する



健康に深く係わる「歩行」「睡眠」へのアプローチ

SDGs 3.4にコミットしていくため、OKIは健康のための5つの要素に関してITを活用したアプローチを行っていきたくて考えています。その5つとは、「運動」「睡眠」「食事」「メンタル」「エイジング」です。本日は、この中の「運動」と「睡眠」に関するOKIのアプローチについて簡単にご紹介したいと思います。

まずは「運動」、特に「歩行」をテーマとしたアプローチです。OKIでは、センサーや無線通信機能を組み込んだ靴を活用して利用者の歩行フォームを分析し、利用者本人にフィードバックすることで、利用者の行動変容につなげる仕組みを共同開発しました。歩行異常から糖尿病や認知症などを早期発見する、未病・予防に効果的な行動を促すなどの応用を目指しています。

つぎに、「睡眠」についてです。OKIではFitbitと

＜仮説事例＞①歩行データを活用した早期発見(7/26日経新聞掲載)

- 歩行の分析から異変の兆候を早期に発見する。
 - ✓ 靴を活用して、歩行分析し、行動変容につなげる仕組みを共同開発
 - ✓ 歩行やスポーツ時の正しいフォームを分析。
 - ✓ 歩行異常から糖尿病や認知症などの早期発見などに応用



Yume Coinとのコラボレーションによる新たなアプローチを考えました。皆さん、「睡眠負債」という言葉をよく耳にされると思います。しかし、もっとポジティブに、「睡眠負債」を「睡眠資産」に変えていきましょうというのがOKIの提案です。

Fitbitで計測できる睡眠の「バランス」「リズム」というデータに、OKI独自の睡眠の「効率」のデータ、さらに利用者本人の「目覚めたときのスッキリ感」、この4つを掛け合わせてYume Coinを付与することで、よい睡眠をとることに対するモチベーションを高めていきます。Fitbit×Yume Coinによって、朝スッキリ目覚め、仕事の効率も上がり、しかもご褒美までもらえるという、世にも素晴らしい睡眠が誕生するのです。

OKIはアクティブシニアの皆さんを応援します！

アクティブシニアに自立したより豊かな生活を！

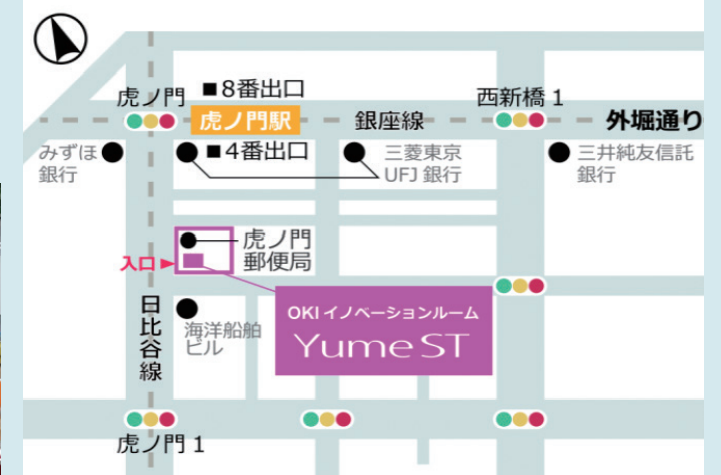


YumeST(夢スタ)のご案内

OKIのイノベーション活性化の拠点として、OKIショールームに隣接する場所にイノベーションルーム「YumeST(夢スタ)」を開設しています。ぜひお立ち寄りください。



イノベーションルーム Yume ST(夢スタ) OKI虎ノ門本社2階



東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン2階